

川西市公共施設等総合管理計画

【追補版】

令和3(2021)年3月

令和4(2022)年11月改訂

川西市

はじめに

本市は、公共施設等の老朽化も進んでおり、急速に進行する少子高齢化・人口減少や財政状況等を踏まえながら、長期的な視点をもって計画的に施設の更新や統合・廃止等を進めていく必要があります。

そのような背景から、市民サービスの向上を見据えつつ、公共施設等の適正な配置や効果的・効率的な運営の方向性を示すべく、「川西市公共施設等総合管理計画」(以下、「本計画」という。)を平成28(2016)年11月に策定しました。

また、本計画に基づく施設ごとの取組方針等を示す「個別施設計画編」を平成30(2018)年3月に、「学校施設長寿命化計画編」を令和2(2020)年3月に策定しました。さらに、個別施設計画の内容を踏まえ、本計画の見直し・充実を図るため、加筆などが必要な内容を追加する「川西市公共施設等総合管理計画【追補版】」を令和3(2021)年3月策定しました。

今回の改訂は、2050年までに二酸化炭素の実質排出量ゼロを目指すゼロカーボンシティの実現に向けた脱炭素化の推進方針を「第5章 公共施設等全体に関する基本方針」に新たに追加するものです。

なお、本計画の全面的な改訂は、市の最上位計画である総合計画の改定時期である令和6(2024)年度に実施する予定としています。

目次

第1章	計画策定の背景と目的	1
1-1	背景と目的	1
1-2	計画の位置づけ	1
1-3	計画の対象施設	1
1-4	計画の対象期間	2
第2章	公共施設等の現状及び将来の見通し	3
2-1	本市の概要	3
2-2	本市における公共施設等の現状	6
2-3	市民意識調査結果による公共施設の現状	10
2-4	将来における人口の見通し	17
2-5	将来における更新費用等の見込み	18
第3章	現状及び将来の見通しを踏まえた課題	21
3-1	市民等の参画	21
3-2	市民サービス提供における民間活用	21
3-3	公共施設等の総量	22
3-4	公共施設の機能	22
3-5	公共施設等の維持管理等	23
第4章	公共施設等マネジメントに関する目標	25
4-1	基本目標	25
4-2	基本目標達成のための原則	26
第5章	公共施設等全体に関する基本方針	27
5-1	参画と協働に関する方針	27
5-2	点検・診断等に関する方針	29
5-3	施設評価に関する方針	30
5-4	継続・改善・見直し・廃止等に関する方針	33
5-5	フォローアップに関する方針	36
5-6	ユニバーサルデザイン化の推進方針	40-1
5-7	脱炭素化の推進に関する方針	<u>40-1</u>
第6章	施設類型別に関する基本方針	41
6-1	行政系施設	43
6-2	学校教育系施設	46
6-3	社会教育系施設	49
6-4	市民文化系施設	51
6-5	保健・福祉施設	55
6-6	子育て支援施設	58
6-7	スポーツ・レクリエーション系施設	61
6-8	公営住宅	64

6-9	供給処理施設.....	67
6-10	その他施設.....	68
6-11	市立川西病院.....	71
6-12	道路・橋梁.....	72
6-13	公園.....	73
6-14	上水道・下水道.....	74
第6-1章	長寿命化対策等の取組効果額.....	76-1
6-1-1	長寿命化対策等の取組効果額.....	76-1
第7章	資料編.....	77
7-1	川西市公共施設等総合管理計画策定経過.....	77
7-2	庁内体制.....	79
7-3	川西市公共施設等あり方検討委員会.....	81
7-4	市民参画.....	85
7-5	公共施設等マネジメントに関する取組方策の事例.....	86
7-6	川西市のこれまでの主な取組事例.....	92
7-7	公共施設の分類・内訳（令和元(2019)年度末現在）.....	94
7-8	有形固定資産減価償却率の推移.....	95

第5章 公共施設等全体に関する基本方針

第5章 公共施設等全体に関する基本方針

5-6 ユニバーサルデザイン化の推進方針

公共施設等の改修、更新等を行う際には、市民のニーズや関係法令等におけるユニバーサルデザインの考え方も踏まえ、障がいの有無、年齢、性別、人種等に関わらず誰もが安全・安心で快適に利用できるようバリアフリー化、ユニバーサルデザイン化を進めます。

5-7 脱炭素化の推進に関する方針

2050年までに二酸化炭素の実質排出量ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」の実現に向け、老朽化している機器の更新時はLED化など高効率な省エネ設備の導入を推進します。また、施設の維持・更新等にあたってはZEB化の効果検証を行うなど、施設の脱炭素化に積極的に取り組みます。

第 6 章 施設類型別に関する基本方針

第6章 施設類型別に関する基本方針

6-12 道路・橋梁

(2) 今後の主な取組方針

橋梁

【旧】

視点	項目	主な取組方針
質	適正な維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ● 劣化状況等の確認を行うなど、計画的な定期点検の実施により、重大な破損等の早期発見に努めます。 ● 「川西市道路橋長寿命化修繕計画」に基づき、橋梁の重要度や破損状態に応じて適切に予防保全と事後保全を組み合わせ、今後増加が見込まれる維持管理経費の縮減を図ります。



【新】

視点	項目	主な取組方針
質	適正な維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ● 劣化状況等の確認を行うなど、計画的な定期点検の実施により、重大な破損等の早期発見に努めます。 ● 「川西市道路橋長寿命化修繕計画」等に基づき、橋梁の重要度や破損状態に応じて適切に予防保全と事後保全を組み合わせ、今後増加が見込まれる維持管理経費の縮減を図ります。

第 6 1 章 長寿命化対策等の取組効果額

第6-1章 長寿命化対策等の取組効果額

6-1-1 長寿命化対策等の取組効果額

(1) 今後の維持管理・更新等に係る経費の見込みと取組効果額

本市が保有する公共施設等を対象に、本計画や施設ごとの取組方針等を示す個別施設計画に定めた長寿命化対策等の取り組みを進めた場合の今後の維持管理・更新等に係る経費の見込み（以下、「長寿命化対策等の見込み」という。）を試算しました。

また、耐用年数経過時に単純更新するなど従来の考え方で維持管理・更新等を続けた場合の今後の維持管理・更新等に係る経費の見込み（以下、「自然体の見込み」という。）と比較し、長寿命化対策等の取組効果額の試算を行いました。

計画期間(2016から2055年度)40年間の長寿命化対策等の見込みは、総額約2,681億円(67.0億円/年)となり、自然体の見込みの約3,471億円(86.8億円/年)と比較して、約790億円(19.8億円/年)の経費削減となりました。

次ページのグラフ「維持管理・更新等に係る経費の見込み(長寿命化対策等の見込み)」では、2020から2021年度で川西市立総合医療センターの建設などにより、本市の直近10年間(2010から2019年度)の投資的経費等の水準82.0億円/年を大きく上回っていますが、2023から2051年度の間は長寿命化対策等の取り組みにより、これまでの投資的経費等の水準を超えない範囲で維持管理・更新等を進めることができる見込みです。

しかし、今後厳しい財政状況のもと人口減少や少子高齢化が進展することなどを踏まえ、市民サービスの向上を見据えつつ、将来見込まれる更新費用等と財政とのバランスを図っていくためには、施設の適正な維持管理や長寿命化、民間活用、公共施設の延床面積縮減など、コスト削減に向けた様々な取組が必要です。

なお、投資的経費等の水準や公共施設の延床面積は、年数の経過とともに変動し得るため、本計画改訂時などに将来見込まれる更新費用等と財政とのバランスを検証します。

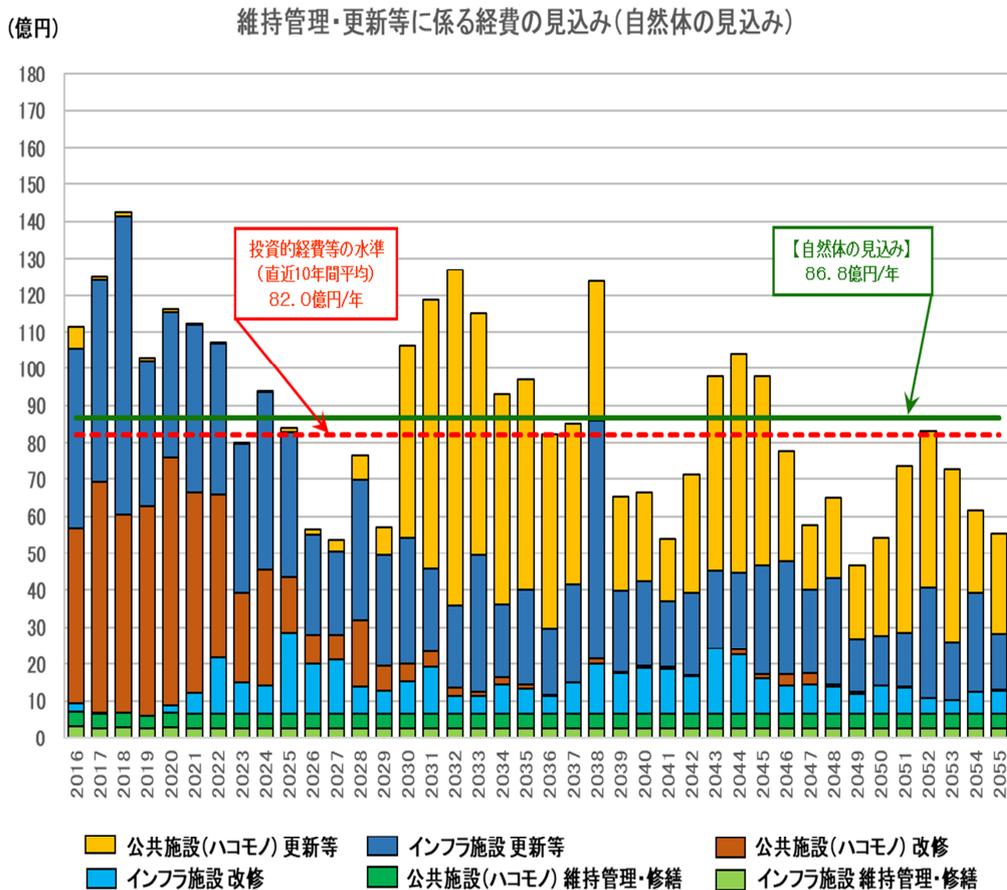
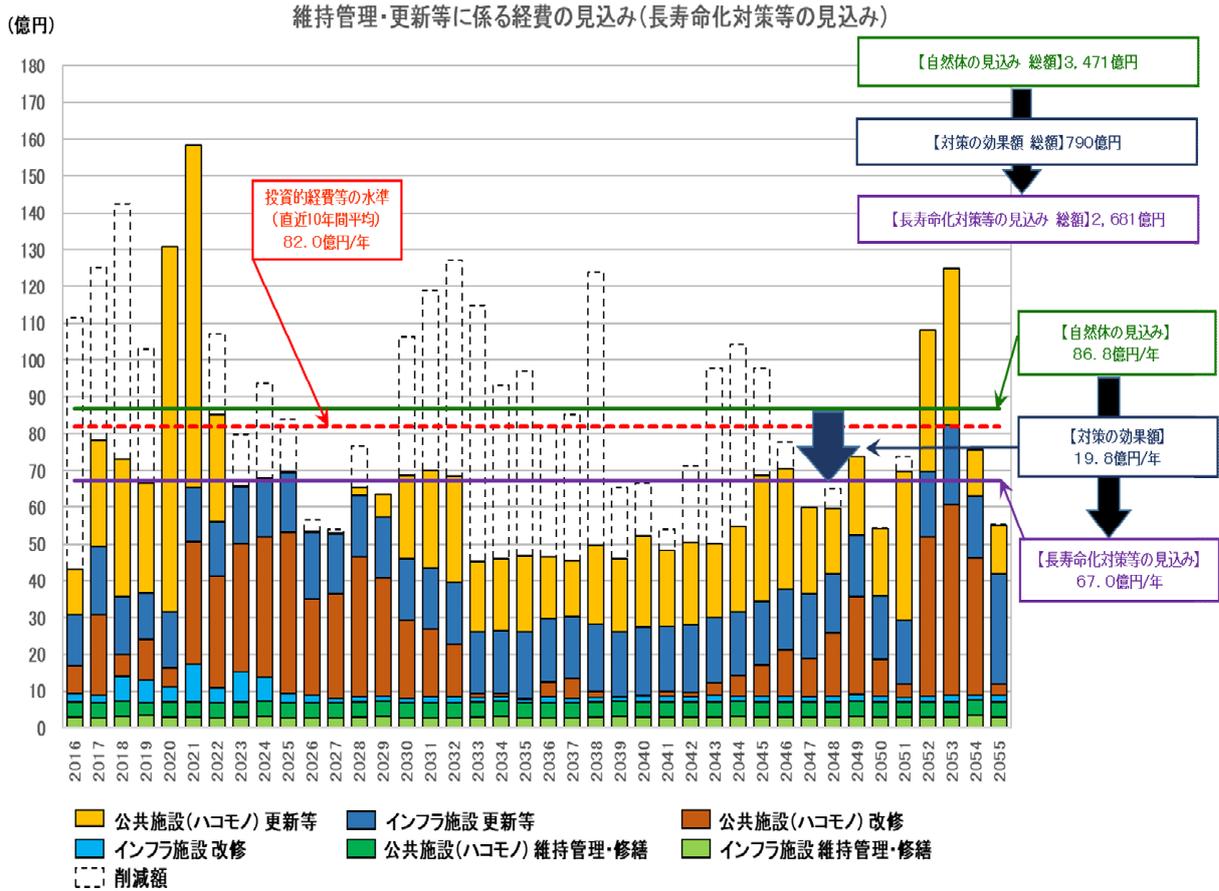
40年間の公共施設等の維持管理・更新等に係る経費の見込み

(百万円)

施設区分	経費区分	長寿命化対策等の見込み				自然体の見込み()	対策効果額(-)	投資的経費等の水準(直近10年間平均)
		更新等()	改修()	維持管理・修繕()	合計() (+ +)			
普通会計	公共施設(ハコモノ)(a)	78,410	56,847	12,978	148,235	168,204	-19,970	4,103
	インフラ施設(b)	45,422	5,552	1,890	52,864	54,614	-1,751	1,979
	計(a+b)	123,831	62,399	14,868	201,098	222,819	-21,721	6,082
公営企業会計	公共施設(ハコモノ)(c)	17,067	9,127	2,819	29,013	12,270	16,743	513
	インフラ施設(d)	23,289	4,497	10,247	38,033	112,022	-73,989	1,609
	計(c+d)	40,356	13,624	13,065	67,046	124,292	-57,246	2,122
公共施設(ハコモノ)計(a+c)		95,477	65,974	15,797	177,248	180,474	-3,226	4,615
インフラ施設計(b+d)		68,711	10,049	12,136	90,896	166,636	-75,740	3,588
合計(a+b+c+d)		164,188	76,023	27,933	268,144	347,111	-78,966	8,203

四捨五入の関係により、合計等が一致しない場合がある。

第6-1章 長寿命化対策等の取組効果額



(2) 公共施設等の維持管理・更新費用等に係る試算条件

対象施設の分類

施設区分		対象施設
普通会計	公共施設 (ハコモノ)	【個別施設計画編対象施設】 行政系施設 保健・福祉施設 供給処理施設 子育て支援施設(保育所) 社会教育系施設 スポーツレクリエーション系施設 公営住宅 その他施設 市民文化系施設
		【学校施設長寿命化計画編対象施設】 学校教育系施設 子育て支援施設(保育所以外)
	インフラ施設	道路・橋梁
公営企業 会計	公共施設 (ハコモノ)	市立川西病院
	インフラ施設	上水道・下水道

経費区分の分類

経費区分	定義
更新等	老朽化等に伴い機能が低下した施設等を取り替え、同程度の機能に再整備すること。除却も含む。
改修	公共施設等を直すこと。改修を行った後の効用が当初の効用を上回るものをいう。例えば、耐震改修、長寿命化改修など。転用も含む。
維持管理・修繕	施設、設備、構造物等の機能の維持のために必要となる点検・調査、補修、修繕などをいう。なお、補修、修繕については、補修、修繕を行った後の効用が当初の効用を上回らないものをいう。 例えば、法令に基づく法定点検や施設管理者の判断で自主的に行う点検、点検結果に基づく消耗部品の取替え等の軽微な作業、外壁コンクリートの亀裂の補修等を行うこと。

長寿命化対策等の見込みの試算条件

対象施設	更新等・改修	維持管理・修繕
個別施設計画編対象施設	公共施設等総合管理計画 P18「2-5(1)公共施設の更新費用等に係る試算条件」に基づき、個別施設計画の内容を踏まえて算出	過去の実績額を考慮して算出
学校施設長寿命化計画編対象施設	学校施設長寿命化計画編 P36「6-1(1)今後の維持・更新コスト(長寿命化型)」の試算条件に基づき、学校施設長寿命化計画編の内容を踏まえて算出	

対象施設	更新等・改修	維持管理・修繕
道路	自然体の見込みの試算条件と同じ	過去の実績額を考慮して算出
橋梁	「川西市道路橋長寿命化修繕計画」の試算条件(予防保全型)に基づき算出	
市立川西病院	公共施設等総合管理計画 P18「2-5(1)公共施設の更新費用等に係る試算条件」などに基づき、(仮称)川西市立総合医療センター基本構想の内容を踏まえて算出	
上水道	「川西市新水道ビジョン」,「アセットマネジメントに基づく水道施設建設改良中長期更新計画」の試算条件に基づき算出 「アセットマネジメントに基づく水道施設建設改良中長期更新計画」は2048年度までの計画であり(管路については、基幹管路を対象とした更新計画のため、配水支管は含んでいない。)、2049年度以降については、同じマネジメント手法をする場合を仮定して算出	
下水道	「川西市新下水道ビジョン」,「ストックマネジメント計画(改築シナリオ及び6)」の試算条件に基づき算出	

自然体の見込みの試算条件

対象施設	更新等・改修	維持管理・修繕
個別施設計画編対象施設	公共施設等総合管理計画 P18「2-5(1)公共施設の更新費用等に係る試算条件」に基づき算出	過去の実績額を考慮して算出
学校施設長寿命化計画編対象施設	学校施設長寿命化計画編 P18「3-6 今後の維持・更新コスト(従来方式)」の試算条件に基づき算出	
道路	公共施設等総合管理計画 P19「2-5(3)インフラ施設の更新費用等に係る試算条件」に基づき算出	
橋梁	「川西市道路橋長寿命化修繕計画」の試算条件(対症療法型)に基づき算出	
市立川西病院	公共施設等総合管理計画 P18「2-5(1)公共施設の更新費用等に係る試算条件」に基づき算出	

対象施設	更新等・改修	維持管理・修繕
上水道	「川西市新水道ビジョン」、「アセットマネジメントに基づく水道施設建設改良中長期更新計画」の試算条件に基づき算出（ただし、既に耐用年数を経過している施設等は、試算年度から10年で更新等していくと仮定して算出しているため、一部「川西市新水道ビジョン」などの条件と一致しない。）	過去の実績額を考慮して算出
下水道	「川西市新下水道ビジョン」、「ストックマネジメント計画（改築シナリオ）」の試算条件に基づき算出	

投資的経費等の水準（直近10年間（2010～2019年度）の実績額の平均）

その経費の支出の効果が単年度又は短期的に終わらず、固定的な資本の形成に向けられるもので、将来に残る施設等を整備するための経費と維持管理・修繕に係る経費の水準

会計区分	算出条件
普通会計	地方財政状況調査における投資的経費の平均額と、維持管理・修繕費の平均額を合算
公営企業会計	建設改良費等の平均額と、維持管理・修繕費の平均額を合算

第 7 章 資料編

第7章 資料編

7-6 川西市のこれまでの主な取組事例

(1) 主な取組一覧

取組方策	基本目標達成のための原則	取組事例
複合化	施設機能の適正化	文化ホール、福祉施設、公民館の複合施設の整備（キセラ川西プラザ）
認定こども園化	施設機能の適正化	幼保一体化認定こども園の整備（牧の台みどりこども園、加茂こども園、川西こども園）
集約化	施設機能の適正化	消防本部と南消防署を集約した新消防庁舎の整備（消防本部・南消防署）

(2) 主な取組の概要

複合化
<p>文化ホール、福祉施設、公民館の複合施設の整備（キセラ川西プラザ）</p> <p>耐震性と老朽化に問題のある1,000席のホールを備えた「文化会館」、 「中央公民館」、 「福祉・保健施設」などに加えて、兵庫県の「こども家庭センター」も複合化するとともに、本市の「こども・若者関連施設」も新設することで、県と市の有機的な連携を図り、市民サービスの向上を目指して、低炭素型複合施設「キセラ川西プラザ」を整備し、平成30（2018）年度より運用を開始した。</p> <p>PFI方式を導入し、事業者提案で自然風を取り込むことによる空調の使用抑制、自然採光を取り入れる工夫、建物の高断熱化、太陽光パネルの設置など低炭素技術の導入により光熱水費を削減し、機能再編により施設内の賑わいを創出し施設機能の適正化を図った。</p>


認定こども園化

幼保一体化認定こども園の整備(牧の台みどりこども園、加茂こども園、川西こども園)

公立幼稚園と保育所の幼保連携型認定こども園を整備することにより、児童の安全・安心で快適な教育・保育環境を確保し、施設機能の適正化を図った。

牧の台幼稚園と緑保育所を機能集約した「牧の台みどりこども園」を整備(平成30(2018)年度開園)

加茂幼稚園と加茂保育所を機能集約した「加茂こども園」を整備(令和元(2019)年度開園)

川西幼稚園と川西保育所を機能集約した「川西こども園」を整備(令和2(2020)年度開園)



【 牧の台みどりこども園】



【 加茂こども園】



【 川西こども園】

集約化

消防本部と南消防署を集約した新消防庁舎の整備(消防本部・南消防署)

消防本部と民間施設へ暫定移転中の南消防署との再編整備を進め、消防本部と南消防署の機能を集約した新消防庁舎を整備し、令和2(2020)年1月より運用を開始した。

耐震性など防災面での機能向上に加え、業務の効率化を図り施設機能の適正化を図った。



7-7 公共施設の分類・内訳（令和元（2019）年度末現在）

施設区分	延床面積 (㎡)		増減 (㎡)	増減率 (%)	主な取り組み
	計画策定時 平成27(2015) 年度末現在	令和元(2019) 年度末現在			
行政系施設	27,909.73	31,892.98	3,983.25	14.27	2018年度 出在家健幸公園備蓄倉庫建設 2018-2019年度 消防本部・南消防署建設
学校教育系施設	170,317.28	168,520.73	1,796.55	1.05	2017年度 旧加茂小学校校舎解体 2019年度 川西南中学校エレベータ設置
社会教育系施設	7,117.45	7,135.08	17.63	0.25	-
市民文化系施設	33,797.60	39,824.95	6,027.35	17.83	2018年度 キセラ川西プラザ建設 (文化棟及び川西公民館)
保健・福祉施設	16,228.97	20,033.19	3,804.22	23.44	2018年度 キセラ川西プラザ建設 (福祉棟) 2019年度 ふれあいプラザ解体
子育て支援施設	11,642.93	14,566.98	2,924.05	25.11	2018年度 牧の台幼稚園解体 牧の台みどり子ども園開園 2019年度 加茂こども園開園
スポーツ・レクリ エーション系施設	12,187.69	12,327.35	139.66	1.15	2016年度 市民体育館建替による面積増 2017年度 旧弓道場解体
公営住宅	66,700.25	66,702.40	2.15	0.00	2017-2019年度 川西団地など空き家となった平屋住宅 を順次解体
供給処理施設	8,941.99	8,941.99	0.00	0.00	-
その他施設	3,511.98	3,788.73	276.75	7.88	2017-2018年度 公園トイレの建設など
合計	358,355.87	373,734.38	15,378.51	4.29	

公営企業会計施設は除く。

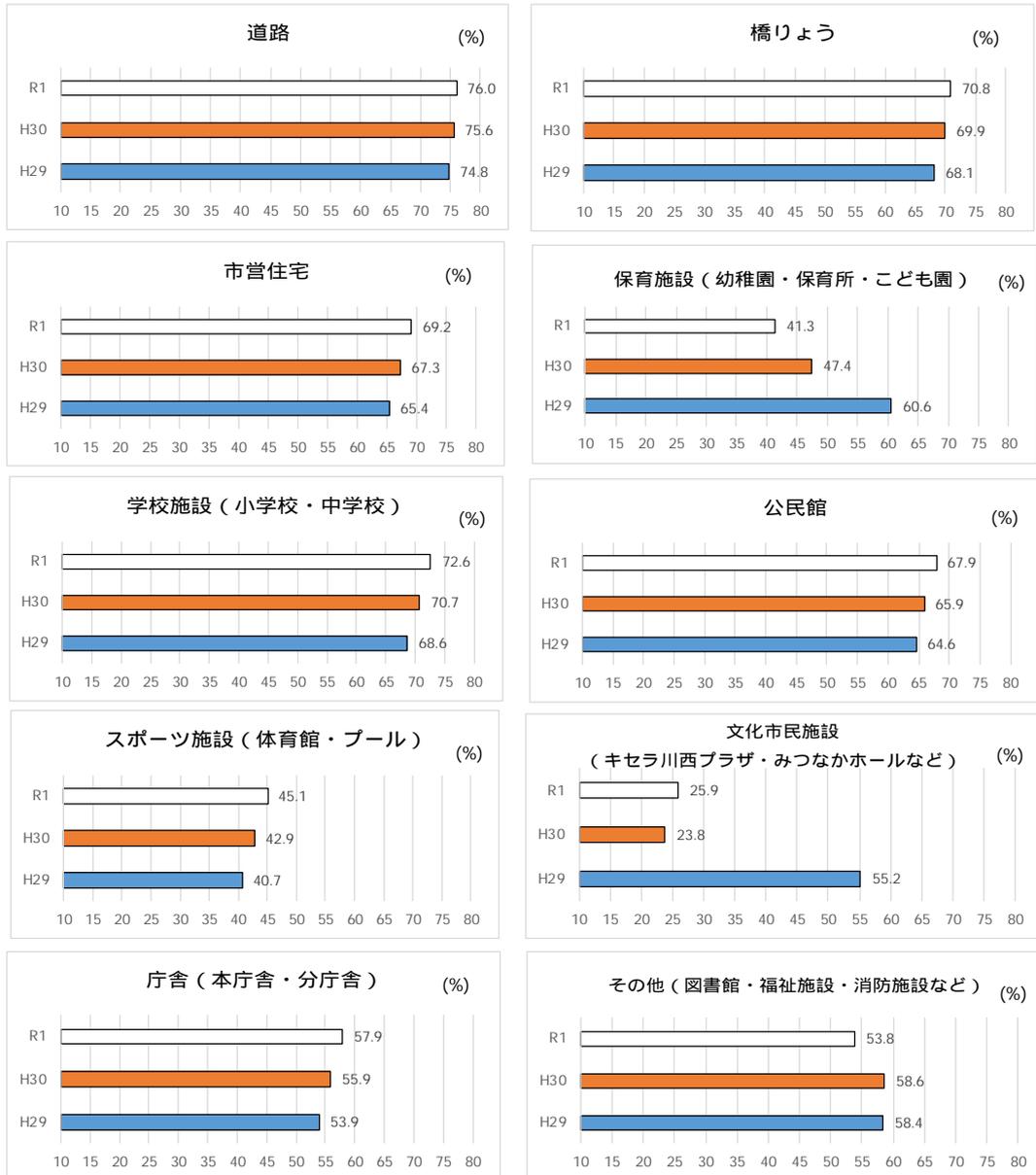
本計画策定後に一部の施設の延床面積を修正している。

7-8 有形固定資産減価償却率の推移

有形固定資産のうち、償却資産（建物や工作物等）の取得価額に対する減価償却累計額の割合を計算することで、耐用年数に対して減価償却がどこまで進んでいるか把握することができます。本市の公共施設等の有形固定資産減価償却率の状況は以下のとおりです。

【出典】統一的な基準による川西市の財務書類（令和元（2019）年度決算）

(3) 施設別分析(有形固定資産減価償却率) 資産全体...69.3%(H30類似団体平均58.2%)



【算出方法】

減価償却累計額 ÷ (有形固定資産合計のうち償却資産 + 減価償却累計額)
(物品は対象外)

償却資産...建物や工作物など、使用や時の経過により価値が減少する資産

有形固定資産減価償却率を施設別に分析すると、特に「道路」や「橋りょう」等のインフラ資産の比率が高く、年々増加しており、老朽化が進んでいることを示しています。

一方、「保育施設」と「その他」については、H30年度と比較し比率が低下しています。これは、幼保一体化の認定こども園の整備や、消防本部・南消防署整備などの老朽化対策の取組みによるものです。

また市営住宅や学校施設についても施設の集約化・長寿命化等を進めており、全体的な施設の老朽化対策に取り組めます。

時代が変わる。川西を変える。

さあ、かわにし **新**時代へ。

川西市公共施設等総合管理計画【追補版】

令和3（2021）年3月策定

令和4（2022）年11月改訂

発行：川西市

〒666-8501 川西市中央町12番1号

TEL：072-740-1111

編集：資産マネジメント部 施設マネジメント課

※ 本計画書は市役所内で印刷しています。
